

臨港中学校区地域教育会議 令和 6 年度の活動概要

委員数 77 (PTA・町会・地域の団体から 34 学校から 27 行政機関等から 6 住民委員 10)

6 年度はコロナ禍明け 2 年目、こちらの制約はなくなったが、教職員の働き方改革を意識した運営に難しさを感じた。コロナ以前のように休日に多くの先生方が地域と連携しながら子どもたちの豊かな成長を支えていくスタイルは難しい。新たな「協働」を模索した一年でした。

☆第 27 回総会

6 月 9 日(金)午後 6 時半より渡田小学校で。地域、学校、保護者、行政から 45 名(内委員 43 名)が出席。コロナ明けで地域町内会の祭りや盆踊りが再開、そこに中学生の元気な姿が復活したことなど、様々な活動の報告があった。総会が良い出会いと交流の場になった。

☆みこし、ソーラン再開 2 年目

この行事ばかりは 6 年夏も先生に協力していただきました。今年の夏は、演技時間の繰り上げなども検討して、先生の負担をできるだけ軽減しながら、価値ある交流の場を維持していきたいと思っています。

☆新企画、サマーチャレンジ！

中学校主体の職場体験が 6 年から学期中の開催になったことを受けて、夏休みに地域主体の体験活動「サマーチャレンジ」をあたらしく企画。保育園などの職場体験の他、農業体験や田舎文化体験など新しい探求的なプログラムを含めて試行実施した。参加数は 20 名ほどで少なかったが充実した体験となった。

☆小学生部会は寺子屋と合同で「お正月お楽しみ会」

1 月に羽根つき、たこ揚げ、おもちでお汁粉、町内会婦人部からも応援。子どもカメラマンの「まちのいいとこ」紹介映像鑑賞。老人会がペタンク主催。社会福祉協議会青少年部から助成金。

☆地域ふれあい集会(子ども会議、ネットワーク会議)

「なんで勉強するの？」をテーマに子どもとおとなが語り合いました。途中 AI に聞いてみました。とてもバランスの取れた名回答です。ところが話が深まるにつれて出てきたのが学びは自分のためだけでなく、他者、社会のためにもある。世界平和にもつながる。など、AI のありきたりの答えをしのぐ意見が子ども参加者から出るという熱気ぶりでした。

☆地域の寺子屋事業

学習支援 大島小学校登録 49 名、延べ 705 人。寺子屋先生 10 名。

渡田小学校登録 100 名、延べ 1145 人。寺子屋先生 15 名。

体験活動⇒10 回、参加延べ 312 人。

9 月 15 日に夜、昨年に続いて親子防災体験を実施した。宿泊体験を目指して、段ボールの仮設ベッドも作ったが、こちらの体力を考えて次回に持ち越した。チャレンジにはなった。1 月のお正月お楽しみ会、6 月の遊びの縁日は地域の人との交流番組でいい定番となった。

※渡田小の先生の仲介でアフリカモザンビークの子どもたちとの交流もできました。



新潟県での田舎文化体験



モザンビークと通信交流



☆広報紙「地域のわ」75,76,77 号を発行 地域と学校の様子を記事にして配布。